

令和元年度東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

NO. 1

申請事業名	緊急時避難機器（階段避難車）整備事業
申請団体	相模大野ハイツ「助け合いの会」
事業目的	階段を使用して地上に避難する際に、障がい者や高齢者が座っての移動が可能になる事と、支援者が1人で安全に、そして容易に避難支援を行うことができる。
交付決定日	令和元年7月2日
交付決定額 （事業費）	243,000円（決算365,040円）
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベータが使用できない場合の避難作業がより可能になった。 ・講習会の実施により機器の操作を行えるようになった。 （今後も機器操作できる者を増やしていく） ・チェアへの乗り移り介助方法の講習会を特別養護老人ホームで実施したことで、施設職員に対して機器のデモンストレーションを実施することができた。
市評価	「助け合いの会」のメンバーだけでなく、居住者も操作講習会を受けたことで災害時要支援の大切さを周知することができ有効であった。また、来年度に東林地区で実施する防災体験デーに参加してもらえることになり、地域住民にも災害時要援護者の支援の重要性を周知することができる。
備考	

申請事業名	おださがさくら祭り
申請団体	おださがさくら祭り実行委員会
事業目的	<p>次の三つの益を柱として協力者、参加者、主催者が一体となり、おださかの春を通してまちを愛するところをつくりあげられるような地域イベントを開催し、地域活性につなげる。</p> <p>地域益・・・春のにぎわいとして毎年多くの住民から愛されるまつりへ 参加者益・・・人とのつながりが感じられるまつりへ 主催者益・・・まつりの開催が組織の成長と周知へつながっていくまつりへ。地域のよろこびを自分のよろこびに感じられるところの醸成。</p>
交付決定日	令和2年1月6日
交付決定額 (事業費)	293,000円(決算792,727円)
団体実績報告	<p>今回は新たにスタンプラリーの企画に取り組むなど、これまで以上に地域活性につながる施策を展開することで、より一層地元愛を育むイベントになるよう準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、関係する全ての方の安全面を考慮し、開催中止とした。</p> <p>今回の中止を糧にし、これまで以上に地元愛を育むイベントになるよう次回の開催に向けて努力していく。</p>
市評価	<p>祭りの更なる盛り上げを図るため今回から祭り開催前からスタンプラリーを実施したが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。その中止判断は出演者や出店者への配慮から早期に判断したことはとても評価することができる。本事業は地域住民の地元愛を育むイベントに成長してきているので、今後の更なる発展に期待する。</p>
備考	

申請事業名	東林わんわん・りんりんパトロール
申請団体	南区安全・安心まちづくり推進協議会東林支部
事業目的	地域住民が愛犬の散歩や自転車での買い物の際に「防犯パトロール中」であることを示すグッズを着けることで犯罪を抑止するとともに、地域住民に対する防犯意識の高揚を図る。
交付決定日	令和2年2月27日
交付決定額 (事業費)	107,000円(決算115,756円)
団体実績報告	<p>わんわんパトロールグッズ、りんりんパトロールグッズを購入し、周知用チラシとポスターを制作した。</p> <p>以前から空き巣や自転車事故の多発する地域であるため、地域住民がそれぞれの都合の良い時間に自宅周辺をパトロールすることで、犯罪者を地域に入れさせない効果が出る。</p> <p>また、従来から行っていた防犯指導員と地域住民による徒歩での防犯パトロールは、従事者の高齢化により担い手が不足してきていたが、わんわん・りんりんパトロールを導入することで回数を減らし、無理のない範囲で実施できるようになった。</p>
市評価	防犯パトロールの実施など、担い手不足が課題となってきた中、地域住民が両パトロールについて積極的に協力し、日常生活の中で防犯意識の向上が図れるとともに、犬の散歩の際のマナー向上が図れる。
備考	